萩ジオパーク
推進協議会だより vol.85

萩ジオパーク推進協議会
｜2022年3月31日発行｜

〒758-0041
山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765 0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject

萩ジオパークフェア2022 大盛況！

年に1度の萩ジオパークの祭典 萩ジオパークフェア2022 を、3月13日（日）萩・明倫学舎で開催しました。1月には萩市も「まん延防止等重点措置」が適用され、開催自体が危ぶまれましたが、2月20日での解除となり、感染防止対策を徹底することで、なんとか開催することができました！
1日の来場者が726名で、今のところ、新型コロナ感染情報もなく、ホッとしています。
お客様からは、「とても楽しかった。また、来たい」、「また、来年も絶対にやってほしい」など、多くの嬉しい言葉をいただきました。

萩・明倫学舎の玄関を入ると、水道の蛇口をひねると「阿東のりんごジュース」と「萩の夏みかんジュース」が流れてくる「阿東と萩の蛇口」でお出迎え!?
海上保安庁から「うみまる君」、萩の観光課長代理「萩にゃん。」も遊びにきてくれて、子どもたちと一緒に記念撮影するなど大いに盛り上がっていました。
また、会場の様子をオンラインで配信しました。見逃した方も公式ホームページから見逃し配信で見ることができますので是非ご覧ください。

萩ジオアカデミー「模型でひも解く日本列島の成りたち」では産業技術総合研究所地質調査センターの高橋雅紀さんがオンラインで講演しました。受講生は厚紙模型を組立て動かすことで、プレートの動きと日本列島、特に東日本の山が高くなった理由がわかりました。なお、脇田顧問には会場において模型製作の補助をしていただき、質疑応答コーナーで高橋先生と受講生との橋渡しをしてくださいました。

物販コーナーでは山口市阿東の甘酒、阿東和牛のカレー・肉丼、阿武町の真鯛とキジハタの粕漬けなどの特産品を販売。売れきれるコーナーがでるほど盛況となりました。

活動の様子を展示で紹介するコーナーでは、賑やかな交流が生まれていました。

大地の遊び人養成講座「フライフィッシングのフライづくり」や、Mine秋吉台ジオパーク推進協議会の「石灰岩のはんこづくり」では、お客様がとても熱心に体験されていました。

萩ジオツーリズム協会の皆様が、午前中にオンラインプログラム、午後からリアルプログラムを実施。道具を手作りして、わかりやすく解説されていました。

地球を食べる食堂では、のれんをくぐって試食を手にされた方が、美味しそうに試食を楽しみながら講座を紹介する映像やパネルを興味深げに見られていました。

会場内のどのブースもお客様との賑やかな交流が生まれていて、萩ジオパークの様々な活動や楽しみ方が伝えられたのではないでしょうか。スタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。

萩ジオガイド養成講座＆モニタージオツアー「菊ヶ浜で遊ぼう！」

リアルでは２年ぶりとなる萩ジオガイド養成講座を講師として一般社団法人をかしや代表理事の菊間彰さんをお招きして３月19・20日に萩セミナーハウス及び菊ヶ浜で開催しました。
今回のガイド養成講座では、観光寄りの全く新しいプログラム、すなわち、萩ジオパークを旅の目的とせずに訪れた人向けのアクティビティを作って実践することを目的として、翌日1時間のプログラムを2回実施することを目標としました。プログラムの対象者は一般観光客、修学旅行生とし、場所は菊ヶ浜です。事前の打ち合わせで、菊間氏から参加の敷居を低くするために、プログラムに『食』を絡め、アウトドアブームに乗って、自然の中に身を置く体験をいれてはどうか、という提案をされ、プログラムの中に、『野点』、『火遊び』、『シートで寝る』体験を組み込んでもらうこととしました。受講生8名が『火遊び』チームと『野点』チームに分かれ、企画を練りました。双方の企画を共有した後、フィールドである菊ヶ浜に行き、まずは自分たちが『火遊び』をして楽しさを実感しました。また、午後から雨の降りやんだ合間に、『野点』チームのコースと野点をする場所の確認をし、翌日に備えました。
モニターツアー「菊ヶ浜で遊ぼう！」の午前は『火遊び』チームが、午後は『野点』チームが担当し、終了後には野点をした場所でお抹茶を楽しみつつ、振り返りを行いました。講師の菊間氏からはどちらも萩ジオパークの新たな体験プログラムとしての形ができ、可能性を感じることを称賛されました。また、ガイドの技術面ではいくつか指摘がありましたが、ガイドの役割は楽しい場を提供するための安全管理（見守り）であり、参加者への介入のバランスが大事であることをお話いただきました。萩ジオパークでは、この受講生の皆さんの作ったプログラムを修正しつつ、本格実施に向けて皆さんと一緒に研鑽に励みます。

モニターツアーで参加者と一緒に菊ヶ浜を満喫しました！

「だれでも楽しめる」をコンセプトに、菊ヶ浜の魅力を活かした全く新しいプログラムを考えて実行するという萩ジオパークモニターツアーを開催し、ガイド養成講座の受講者と共に事務局の池田もガイドとして参加しました。
午前は、内容をほとんど決めずに参加者がしたいという思いつきをその場で形にしていく非構成プログラム。参加者の多くは最初こそ戸惑いから固い表情でしたが、ガイドが率先して楽しむにつれ、最後には自然と参加者全員が裸足になって萩の砂浜で遊んでいました。
午後のメインは指月山の麓での野点。菊ヶ浜を歩き、景色を堪能し、指月城跡の土塀を背にお茶を頂く。最高のロケーションと相まって感動の表情と笑顔を絶え間なく見ることができたプログラムでした。
「とにかく楽しい体験」を重視した今回のツアーはジオガイドとしてこれまでにない取組みでしたが、参加者の楽しそうな表情にガイド一同安心しました。事前準備が少なくてもツアーは成立する。この経験は今後のガイドに活かせそうです。

阿武小学校

環境クラブにおじゃましました

阿武小学校では、阿武町でカヤックをされている高井一さんが講師となって、海岸清掃をしたり、海の環境について考えるクラブ活動があります。3月2日の今年度最終回に白井専門員が訪問し、海の生物の化石を触ってもらいながら、人が生まれる遥か昔から続く海の営みを未来につなげていこう、というお話をしました。

椿西小学校

ビオトープ再生大作戦1stシーズン・完！

昨年10月から始まった萩市立椿西小学校４年生のビオトープ再生大作戦が、3月15日に今年度の最終回を迎え、生態系ピラミッドや生物多様性といった話を実体験をもって学びました。最後には生き物たちを池に戻し、今後も見守り続けていくことをみんなで誓いました。

＼新登場！／

「高山と須佐ホルンフェルス」解説看板と「須佐湾・高山」パンフレット

目の前に広がる「高山と須佐ホルンフェルス」の景色が詳しく解説されている看板と、「須佐湾・高山」の成り立ちから、見どころ、大地と人のつながりまでがよくわかるパンフレットを製作しました。これから気候の良い季節となります。絶景を楽しみながら、解説看板やパンフレットで景色の奥深い物語に触れてみてください。

4月の予定

○ **geoとも（萩ジオ友の会）定例会「ジオ探訪」** 4月16日（土） 内容：秋吉台と周辺のおもしろいところへ　主催・問い合わせ：geoとも　桂 （0838-21-7173）、中西 （080-8747-9383）